

## 「若い世代の食育」に関する意見募集 (内閣府青少年意見募集事業の活用)

農林水産省では、第3次食育推進基本計画の重点課題である「若い世代を中心とした食育の推進」に取り組むにあたり、若い世代の課題やニーズを把握するため、平成29年度内閣府青少年意見募集事業を活用し、「若い世代の食育」をテーマに、ウェブ上での意見交換と対面式での意見交換(ユースラウンドテーブル)を行った。

### 1. 実施概要

#### (1) ウェブ上での意見交換

- ・ 実施時期 平成29年7月11日(火)～31日(月)
- ・ 対象者 公募により平成29年度ユース特命報告員に任命された中学生から29歳までの子供や若者267名
- ・ 質問項目 (1)食育への関心、(2)朝食摂取、(3)栄養バランスに配慮した食事、(4)食文化の継承、(5)食生活改善等に取り組むための効果的な情報源や情報を得る機会  
※(2)～(4)については、現在の状況を把握するとともに、実践するための課題やアイデア、必要な支援について回答を得た
- ・ 回答者数 計192名、男性76名、女性116名 (回答率:71.9%)

#### (2) 対面式での意見交換(ユースラウンドテーブル)

- ・ 実施日時 平成29年8月21日(月) 18:00～20:00
- ・ 参加者 ウェブ上での意見交換時に、ユースラウンドテーブルへの参加を希望すると回答した者の中から選出した26名  
[内訳:中学生3名、高校生8名、大学生・大学院生8名、社会人7名]
- ・ テーマ 第3次食育推進基本計画で、若い世代を対象とした目標を設定している「朝食摂取」「栄養バランスに配慮した食生活」「食文化の継承」の3つのテーマを中心に、実践するための課題や必要だと思う支援について議論



グループでの意見交換の様子



全体での意見交換の様子

内閣府では、子供や若者の意見を聴き、施策に活用するとともに、子供や若者の社会参加意識を高め、積極的に意見を述べる機会を提供するため、様々なテーマについて子供や若者から意見を聴取する「青少年意見募集事業」を実施している。

## 2. ユースラウンドテーブルにおける主な意見

(テーマ別の実践するための課題や必要だと思う支援について)

### (1) 朝食摂取

- ・ コンビニでワンプレートの朝食セットを販売する
- ・ 通勤・通学中の電車で朝食を食べてよい車両をつくる
- ・ 会社や学校に朝食の自動販売機を設置する
- ・ 地域のおばあちゃんが朝食を用意してくれるばあちゃん食堂を開設する
- ・ テレビなどで芸能人が朝食を摂ることのメリット、摂らないことのデメリットを伝える
- ・ 駅のスーパーの営業時間を延長する
- ・ アニメやゲームなどの若者向けのメディアとタイアップする
- ・ 夜の残業をやめて早寝早起き出来るようにする

### (2) 栄養バランスに配慮した食生活

- ・ テスト期間の食事を無料で提供する
- ・ 大学生が自分の食事を管理できるようなアプリを開発する
- ・ 小・中学校で調理実習の時間を増やす
- ・ 栄養バランスのよい外食や中食に、トクホのようなお墨付き制度を導入する
- ・ シェアハウスを広め、一人暮らしでも調理をしやすい環境をつくる
- ・ 自分で料理をしてそれを食べる楽しさを伝える
- ・ Youtube の広告やインスタグラムなどでアピールする
- ・ スーパーやファミレスで、栄養バランスのとれた組合せにすると割引になる制度をつくる

### (3) 食文化の継承

- ・ 食文化の継承には、自分たちの食文化を認知してもらうことが必要
- ・ 若者に人気のある芸能人に大使をやってもらい、SNSで紹介してもらう
- ・ 地域で行われるイベントなどで伝統料理の屋台を出したり、食文化を紹介したりする
- ・ フォトジェニックで、伝統的な食文化を取り入れた食堂を増やす
- ・ 学校の調理実習や総合的な学習の時間で、地元産野菜などの大切さを学ぶ
- ・ 学校の宿題でおせち料理などの伝統料理を作り、親子や地域の人々と一緒に学ぶ
- ・ 給食の時間は、礼儀作法やテーブルマナーが無意識に身につく、食文化を知れるため大切
- ・ 本や写真で学ぶだけでなく、実際に学べる体験プログラムを増やす

## 3. 今後の展開

報告書が取りまとめ次第、意見を分析し、関係する省庁に情報提供するとともに、実現可能性があるものについては、施策への反映を検討する。

※ウェブ上での意見交換及び対面式での意見交換(ユースラウンドテーブル)の報告書は、平成29年10月頃、内閣府ホームページにて公表予定。

# A・Bグループ（朝食摂取）

## 時短

ブラック  
ファースト  
メニュー

洗い物なし  
ワンプレート  
で朝食が  
食べられる

スロー  
クッカー  
(夜入れて  
朝)

準備時間が  
少なく作れる  
(冷凍食品等)

でも、栄養が  
心配

簡単に作れる料理  
の紹介番組

すぐに用意が  
できるもの

レンジで  
チンしたら  
食べられる

## 広報

テレビ、芸能人など  
が説明する  
アイドルなど

電車の掲示板に  
「朝食は食べました  
か？」などを  
取り入れる

朝食をとらない  
デメリットを広報する

メリットを訴えた  
広報を大きく打つ

朝食を食べるメリット  
を知ってもらう  
→必要性など

ツイッターやフェイス  
ブックで広報を打つ

## 朝食 システム化

アニメ・ゲームなどの  
若者向けメディアとの  
タイアップ(ある程度  
メジャーなタイトルで)

ばあちゃん  
デリバリー

シルババー、社協と  
協力して出来ないか  
ばあちゃん食堂)

朝食の配達  
(デリバリー)

コンビニで  
新鮮な物を

自分で作る  
気がない・・・?

大手スーパー  
に地元産  
野菜を入手で  
きるコーナー  
を作る

駅のスーパー  
の営業時間の  
延長

朝の情報番組  
で朝食を作る

朝のテレビ  
内で朝食に  
ついて言う  
【アラーム的  
なもの】

## 朝食の 場所

朝ごはんを学校  
で食べる時間を  
設ける

学校で朝食をとる  
時間を正式にとる  
(文科省通知などで)

企業の社食、  
学校の食堂等  
で格安に提供

朝の食堂  
列車

近くで200円くら  
いで食べられる

職場や学校で  
朝食を食べる  
時間を作る。

学校、会社  
で朝ごはん  
提供

パット食べ  
れる置き弁  
@ 駅

食堂のある  
企業に対して、  
朝食提供の  
働きかけ

企業と協力して  
バランスの整っ  
た商品を作る

## コミュニ ティ 地域から

朝食をとること  
でメリットを作る  
eg)クーポン  
配布

回覧版な  
どで促す

親と一緒に  
食べる時間  
をとる

With  
ばあちゃん

小学生の頃  
から朝食摂取  
を意識づける

一緒に暮らし  
ている人が  
→できれば  
共働きでは  
なく

コミュニ  
ティで

## 生活習慣

夜の残業×  
＝早おき

食べる時間  
を決める

規則正しい  
生活

食べる場所  
【一人暮らし】で  
家が狭い方など

早寝  
早起き

睡眠時間を  
増やす施設

高校生は  
規則正しい  
生活を送れな  
い傾向がある

朝食に  
関する  
情報交換

大学で食べ  
なくなる→  
帰る時間が  
遅かった

朝はコーヒー  
だけで  
食べない  
→忙しい

〇時以降  
出勤禁止の  
日をつくる

テストの時  
は食べる  
→メリットは  
知っている

朝のフレッ  
クス推奨  
＝作る、食  
べる時間



# C・Dグループ (栄養バランスに配慮した食事)

テスト期間 学校が3食提供

企業も(無料)

アプリで管理

自動で足りない栄養を通知する

AIで管理

栄養バンク

アプリで自分の管理を行う

フードサークル

朝食を食べ過ぎていない小中学生に朝食を提供すること、朝食の集中カUPと朝食からの三食の栄養が大切であることを教える

スロースター

学生団体が運営しておりアフタースタッフの逆で、地域の野菜を利用して時間をかけて食べ、三食アプリでもつなげることで、大学生の忙しい生活を余裕を持たせる。完食すると半額になる

## 高等教育

## 初等教育

保健の授業で校内にいる栄養に詳しい先生からの授業をしてもらう。きちんと栄養バランスの良い食事のメリットを伝える

もぐもぐポスター

クラス全員で三食全て食べた人の分だけポスターを貼っていき、1,000枚出来たらおかわり自由にしていく。もしくは、先生がほめる(小学校)

調理実習をやする頻度を増やす

小中学校に行き、バランスのとれた食事などについて教えたりする

三色信号

三色にすることで、交通安全と同じように交通安全教育と食育を兼ねるようにすることで3つの理解を同時に高める

小学校の給食の「今日の献立」を読んで紹介していく。読むときには、「主食」「主菜」「副菜」のところに自然に覚えてもらう

給食制度をもっと長く取り入れる

## 官民共同

栄養バランスが良いメニュー【外食】に国がお墨付き！トクホetc...

外食だけでなく中食でトクホのようなものがあるといい

行政の料金教室

1人で暮らしていると食事がいよいよ加減になることはある

シェアハウス

1人でセット販売

作ってくれる彼女でもないたらなあ

大学1限を遅くしてほしい

ライフスタイル

## メディア

料理方法がわかると買いやすくなる

レシピでは、ヘルシーでバランスの良いものも紹介した方がいい

食事制限する人向け

料理が苦手な人でも簡単に作れるようレシピを紹介する

YouTubeの広告で食育アピール

食事カメラ

インスタグラムでお互いに自分に食事をほめあうことでモチベーションを高める。また、互いにしているの、やる気になる

SNSで伝える

興味の引くことを短くまとめはじめに出すことで、自然にいろいろな人が読み進めていくような文をつくる

スーパーに行ったり、栄養バランスとか、食育に関するポスターがあるかも意識するかも

アプリ(SNS)

歌で作ってみる

スーパー、イオン等に各物菜にどれだけの栄養があるか解りやすく示す

ドラマとかで主食、主菜、副菜がそろったテーブルで、おいしいように食事したら、マネしたくなるかも

意識

野菜ジュースを活用する習慣にする

自分で料理してそれを食べる楽しさを伝えたい

栄養に興味がない人に対して→別の面で良さをアピール↓

バランス長ければ値引きなど

「宅配やスーパーの惣菜を使っても良い」と周知させる

日常レシート

レシートに買った商品に金額と栄養価を書いて家計簿と一石二鳥

5大チャート

を記載することを義務づける

価格

ファレスなど

定食の値段を安くしてもらえと食べるきつかけとなる

大学生協で安く惣菜を販売する

最近、食費が上がっている

定食の値段が高い

→国から補助金

三色割引

主食、主菜、副菜、汁物と増やしていった、どんどん割引にしていく。増やせば増やすほど、定食の高いイメージを下げていく

# E・Fグループ（食文化の継承）

## 認知

食文化継承の入り口としての「認知」必要な物

食育のメリットをもっとアピールをして注目をしてもらおう

## 手段

新聞などに、地域の発行紙と一緒に生産者の方へのインタビューをのせる

TVで紹介（eg）ケンミン ショー的な

SNSでの発信 若い世代の人でも情報を得やすい

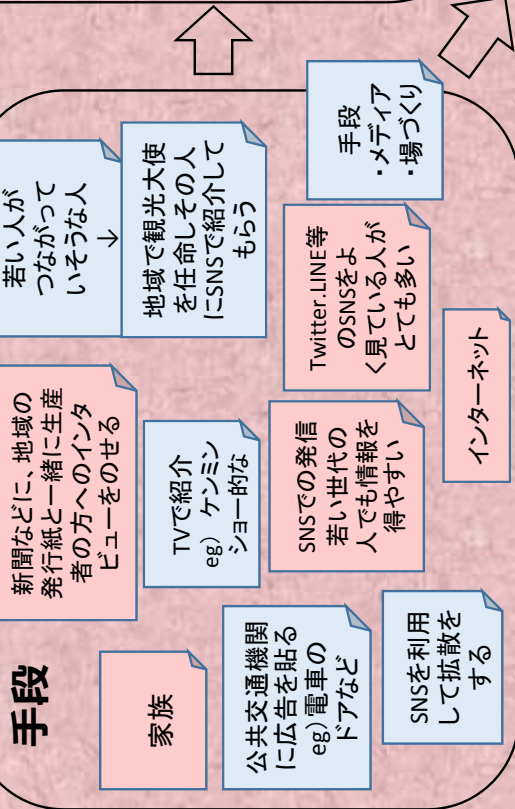
Twitter、LINE等のSNSをよく見ている人がとても多い

若い人がつながっていきそうな人

地域で観光大使を任命しその人にSNSで紹介してもらおう

手段  
・メディア  
・場づくり

## インターネット



## 学校

本や写真で学ぶだけでなく、実際に食べて食べる体験プログラムがもっと頻発にあればいい

無意識に学べる場 給食を上手く活用する

おせち料理も地域の方達と一緒に作る（宿題だと親に作ってもらって写真にとるだけになる）

学校給食、授業ほとんどの人が学校に行くので、食の学びの場として活用できる

昔体験クラブのよなものがあったらいいな

実際に農業体験をしてみたい親近感を持ってもらおう

お正月等に、家庭科の宿題としておせちなどの伝統的なものを作る

学校・企業を基幹とした食との背景にふれる機会をつくる

食とその背景を知らないことが食離れの原因となっている

総合的な学習の時間に地域の方とそので地域伝統の食べものをつくる

小学生だったら、課外活動の1つとして知ってもらおう校内等にポスターを

企業体験プログラムを学校で行う

地元の違う人が集まる学校も多いので宿題で特産品を紹介

小学生だったら、校外学習としてかであさり飯とかの体験が（実際に作ってみる）できればいいと思っ

学校教育で伝統的なものをとりあつかう

## 親近感 関係

## 外からの目

給食係

給食センター

アナログな「場」直売所？



## 地域

洋風のお店ばかりあるので、あさり、のりなどの料理を食べられるところがあればいいと思います

食文化の普及イベント

あさり飯が伝統の料理なんですけれど、あさり飯を食べれる所がいくつか場所を作ってみんなが食べれるようにしたい

店

図書館

地域で行う祭りなどで屋台として伝統料理を出店する

支援策 ご当地〇〇風土FOOD ツーリズム

自治会で料理会を開く

高級食材助成制度をつくる

伝統料理の高級化の進行

食育のための助成制度が必要ではないか

地域で行われるイベントなどの屋台にその土地の食文化や調理法をカードにして配布する

地域に食堂を作る

地元のスーパーと連携する

スーパー

全国的に展開されているお店で地域らしさを出す

スーパーの「品ぞろえ」の差をもっとPR